

木曾福島町来訪者に対するアンケート調査

Analysis of Attractive points in Kiso area from the questinairing to visitors to Kiso-Fukushima town

鈴木尚通

目次

1. 序

2. 調査結果の分析

3. まとめ

付録. アンケート調査票

1. 序

2005年7月23日(日)、長野県木曾福島町(現木曾町)において、木曾福島町街作り推進課の協力を得て、ゼミ活動の一環として、アンケート調査を行った。当日は御輿まくりの最終日に当たり、天候は薄曇り時々雨で蒸し暑かった。アンケート調査は13時頃から16時30分頃まで行い、当日、木曾福島町を訪れた方から80票の調査票に記入していただくことができた。事前に下見を行い、人通りが多そうで、しかも学生が座って休むことができる場所が近くにある、足湯前と木曾文化ギャラリー前の2カ所でアンケートを採る予定でいた。しかし、実際にアンケートを採り始めると、御輿が足湯や木曾文化センター前の通りから遠ざかると、人出も少なくなってしまうために、15時頃からは、木曾福島駅前へ移動して調査を行った。

アンケート調査票の作成に当たっては、ゼミの学生と議論して作成した第1次案を、木曾福島町役場観光課の方に見ていただき、町の方から見て必要だと思われる項目を補充した。そのために、アンケートに答える側から見ると、項目が増えすぎた嫌いがある。しかし、木曾福島町における調査は今回が初めてであったので、調査を行った上で、必要があれば改訂していくことにした。使用したアンケート調査票を付録として添付する。

調査に参加した学生は短期大学部佐藤ゼミ2名、総合経営学部鈴木ゼミの2、3年生の中から9名、合計11名であった。学生諸君には、データ入力から、解析まで行ってもらった。2005年10月松本大学大学祭の折りに、調査結果の中間結果を発表した。現在3年生のゼミ生には、発表用の原稿を作成してもらい、近々発表会を開く予定でいる。

2. 調査結果の分析

アンケートに答えてくださった方の性別は、男性45(56.3%)、女性31(38.8%)、無回答4(5.0%)であった。来訪者の居住県は、長野県31、長野県外45、無回答4であったので、主な回答項目に対して、長野県内と長野県外に分けてクロス集計を行った。

図1に居住地別の男女比(長野県内と県外の性別の集計結果)を示す。ドーナツ状のグラフの外側が県外のデータを、中側が県内のデータを示す。県外は男性66.7%(30名)、女性28.9%(13名)と男性の方が女性の2倍以上であった。県内は男性41.9%(13名)、女性51.6%(16名)と男女の比率はあまり変わらない。

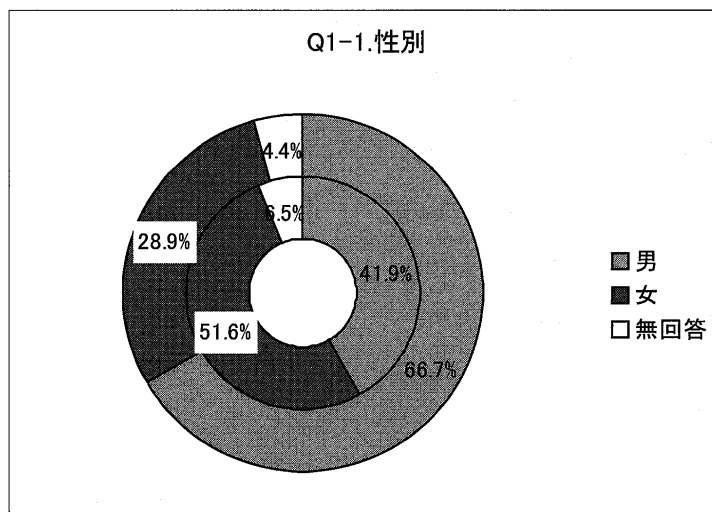


図1. 居住地別の男女比。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

図2に年齢層別の集計結果を示す。県外からの来訪者は30歳代15.6%（7人）、40歳代13.3%（6人）、50歳代20.0%（9人）、60歳代24.4%（11人）と30歳代から60歳代までが10ポイントを超えている。50歳代以上で61.1%（18人）と比較的年齢の高い人が好んで訪れている。県内の来訪者は20歳未満から50歳代まで12.9%（4人）以上（17%未満）と幅広い世代が来訪している。もっとも比率の高い年齢層は30歳代22.6%（7人）であった。

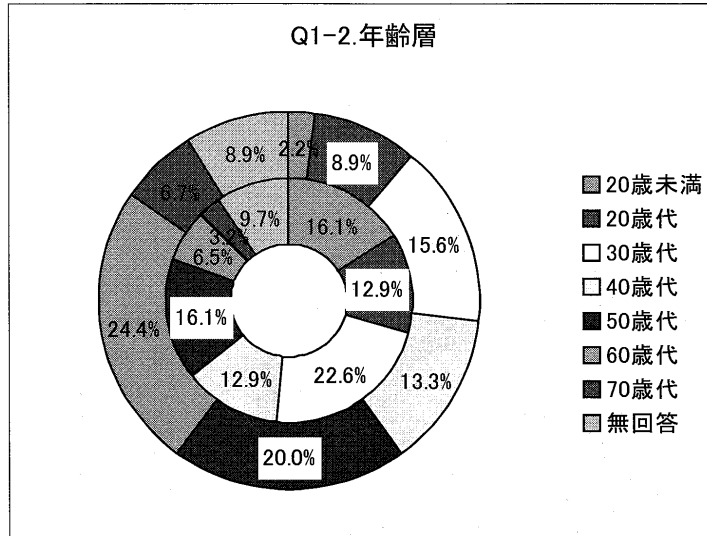


図2. 来訪者の年齢層。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

図3に県外からの来訪者の居住県を示す。愛知県からの来訪者が35.6%（16人）、岐阜県13.3%（6人）、静岡県6.7%（3人）と、この3県で55.6%（25人）を閉めている。また、その他44.4%（20人）の内訳は、東京都5人、神奈川県3人、埼玉県3人、兵庫県3人、群馬県2人、大阪府、千葉県、広島県、三重県各1人であった。地方別に集計すると、中京・東海地方57.8%（26人）、関東31.1%（14人）、関西8.9%（4人）、中国2.2%（1人）となる。

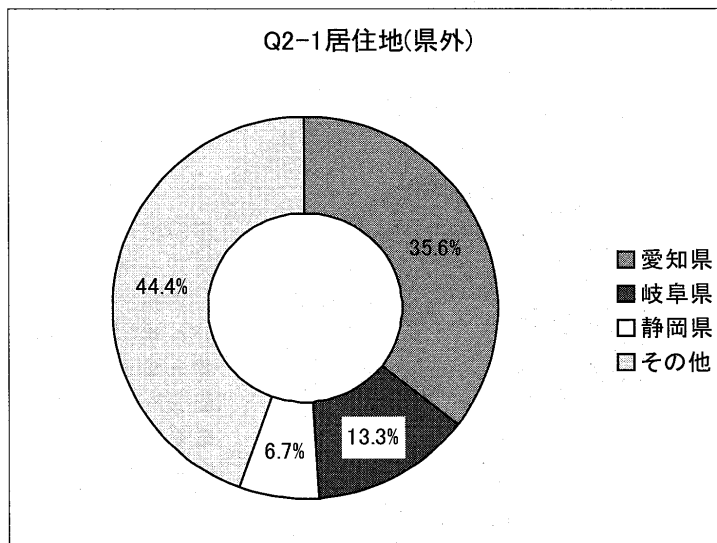


図3. 県外からの来訪者の居住地域

尚、長野県内からの来訪者31人の中で、長野市4人、松本市3人、塩尻市2人、木曾福島町2人など、19人の方が居住市町村を書き込んでいる。

来訪者の旅行日程を図4に示す。県外からの来訪者の旅行日程は、日帰り20.0%（9人）、1泊2日55.6%（25人）、2泊3日20.0%（9人）、3泊以上4.4%（2人）と、8割の人が宿泊している。県内からの来訪者は日帰り58.1%（18人）、1泊2日12.9%（4人）、2泊3日3.2%（1人）の順であった。無回答25.8%（8人）の居住市町村を見てみると、木曾福島町2人、南木曾村1人、日義村1人、長野市1人、佐久市1人、無回答2人で、地元およびその近郊の方が4人含まれている。

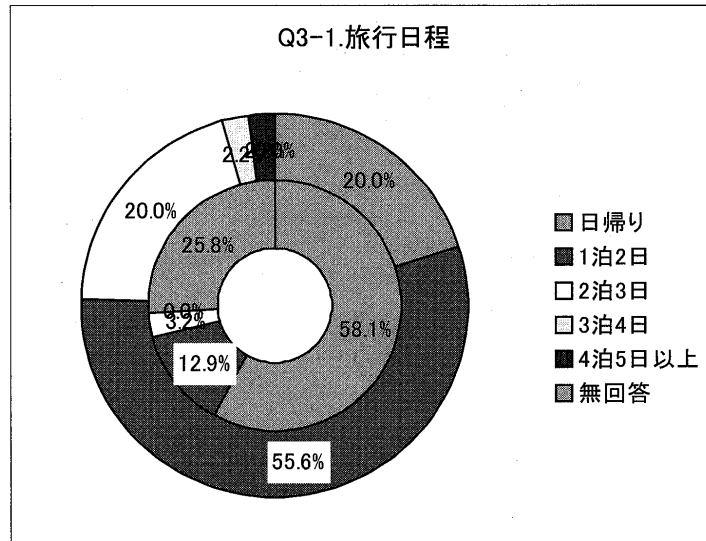


図4. 来訪者の旅行日程。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

来訪者の旅行相手を図5に示す。県外からの来訪者は、家族（子連れ）24.4%（11人）、夫婦22.2%（10人）、単独20.0%（9人）、家族（大人のみ）17.8%、知人友人8.9%（4人）の順となっている。県内からの来訪者の相手は、知人友人29.0%（9人）、家族（子連れ）25.8%（8人）、夫婦9.7%（3人）、単独9.7%（3人）の順となっている。

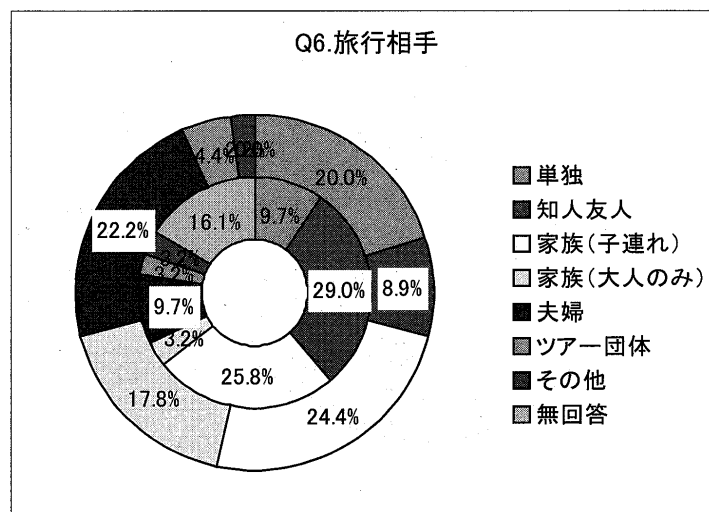


図5. 来訪者の旅行相手。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりも、夫婦、家族（大人のみ）、単独の割合が高く、知人友人の割合が低い。県外からの来訪者の方が年齢層が高いことと関係があるかもしれない。

来訪者の交通手段を図6に示す。県外からの来訪者は、マイカー55.6%（25人）、鉄道(JR)31.1%（14人）、観光バス8.9%（4人）、中央高速バス4.4%（2人）の順で無回答はなかった。県内からの来訪者は、マイカー48.8%（15人）、鉄道(JR)16.1%（5人）、バイク、自転車、観光バス、中央高速バス各3.2%（1人）、その他6.5%（2人）、無回答12.9%（4人）であった。

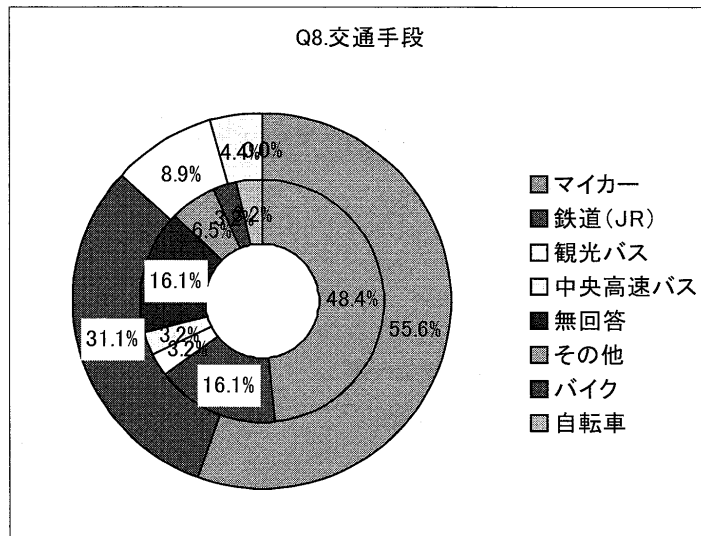


図6. 来訪者の交通手段。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

来訪者の来訪回数を図7に示す。県外からの来訪者は、10回以上48.9%（22人）、はじめて22.2%（10人）、3～5回20.0%（9人）、6～9回と2回目がそれぞれ2.2%（2人）の順となっている。6回以上のなじみの方が53.3%（24人）を占めている。

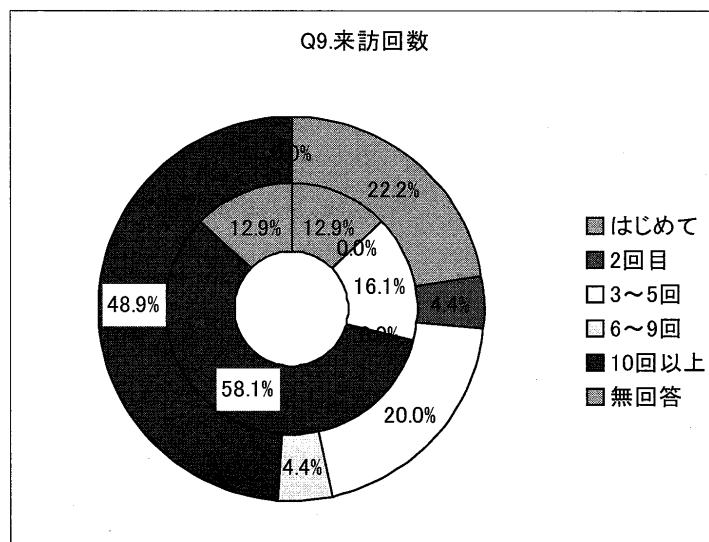


図7. 木曾福島町への来訪回数。外側が県外、中側が県内のデータを示す。

また、始めてと2回目で26.7%（12人）と新規に近い層も1/4以上を占めている。年配の方々には落ち着いた街並が好評であると思われる。県内からの来訪者は、10回以上58.1%（18人）、3～5回16.1%（5人）、始めて12.9%（4人）の順となっている。10回以上が6割近く占め、リピーターが多いだけでなく、初めてが10ポイントを超えている点が注目される。

木曾福島町への来訪目的（いくつでも可）を図8に示す。

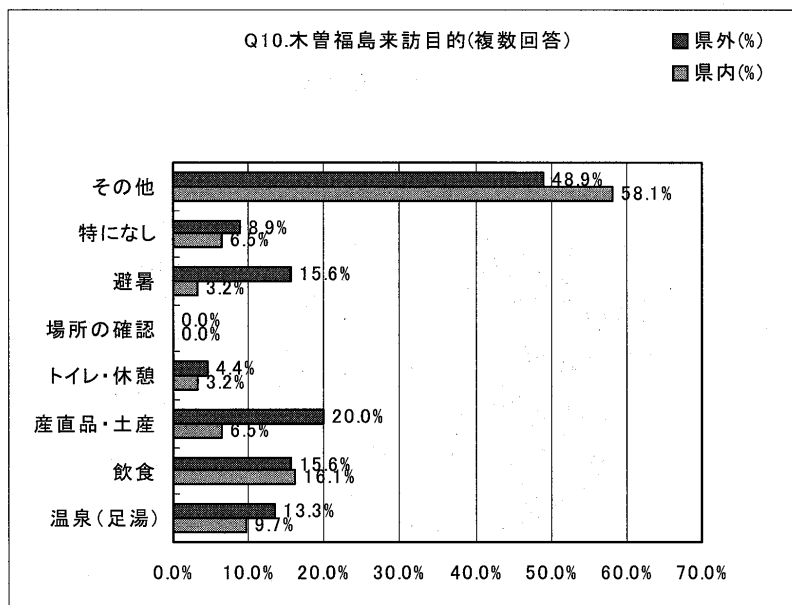


図8. 木曾福島町への来訪目的.

県外からの来訪者はその他が48.9%（22人）と最も多かった。その内訳の主なものは、お祭り20.0%（9人）、登山11.1%（5人）、ゴルフ6.7%（3人）であった。以下は図8からわかるように、産直品・お土産20.0%（9人）、飲食と避暑が15.6%（9人）、温泉（足湯）13.3%（6人）の順となった。

県内からの来訪者はその他が58.1%（18人）と最も多かったが、その中でお祭りが45.2%（14人）であった。以下は飲食15.6%（7人）、温泉（足湯）13.3%（6人）の順であった。

木曾福島町の情報収集手段（いくつでも可）を図9に示す。県外からの来訪者は、以前来た33.3%（15人）、ここで始めて13.3%（6人）、観光パンフレットと道沿いの看板が6.7%（3人）の順であった。その他24.4%（11人）の具体的記述は、地元2の他は、インターネット、家族、親類および図書館が各1であった。

県内からの来訪者は、以前来た22.6%（7人）、口コミ12.9%（4人）、新聞・チラシ9.7%（3人）、テレビ・ラジオ6.5%（2人）の順であった。また、その他は19.4%（6人）あるが、具体的な記述は、インターネット、実家、地元が各1であった。県内からの来訪者は、以前に訪れていてある程度情報を持っている人（7人）の他は、その他の実家と地元各1を含め口コミ（6人）、新聞・チラシおよびテレビ・ラジオのおそらく地元メディアを活用している人（5人）が主な情報収集の方法ということになる。

県外からの来訪者は、木曾福島町を何回か訪れていて、すでに情報を持っている人の割合が、県内からの来訪者よりも10ポイント以上高い。

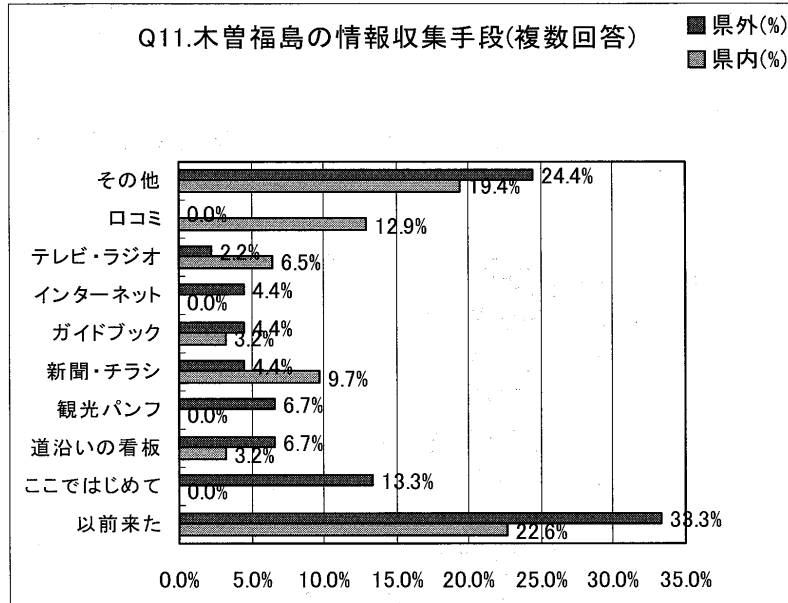


図9. 木曾福島町の情報収集手段.

この地域で有料で楽しんだこと(いくつでも可)を図10に示す. その他とキャンプを除くと, いずれの項目も県外からの来訪者の方が県内からの来訪者よりもポイントが高い.

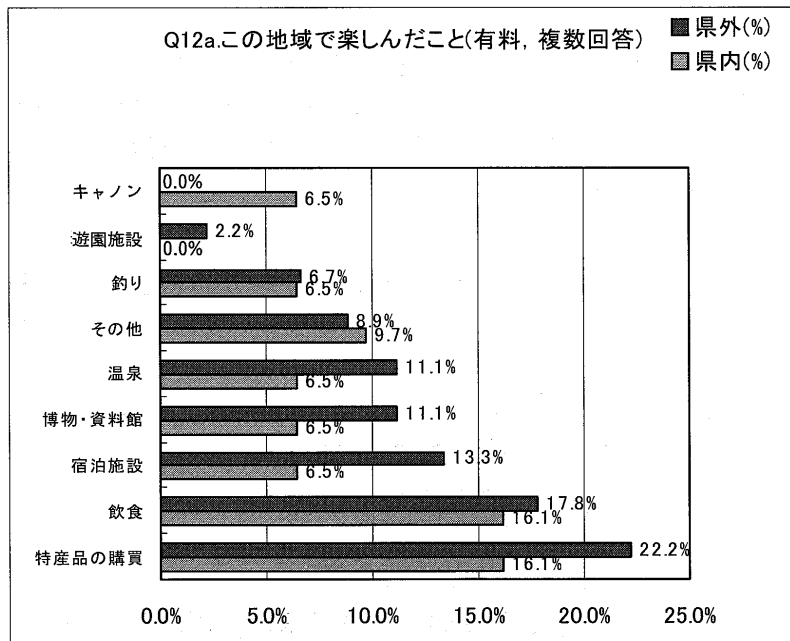


図10. この地域で有料で楽しんだこと.

この地域で無料で楽しんだこと(いくつでも可)を図11に示す. 全13項目中, 県外からの来訪者のポイントの高い順から10項目選んで表示した. 御輿まくりの当日であったので, 県内からの来訪者も県外からの来訪者もお祭りが最もポイントが高い.

県外からの来訪者は, お祭り33.3%(15人), 自然の風景28.9%(13人), 名所・旧跡20.0%(9人)と20%以上の項目が3項目あった. また, 県内からの来訪者があげていない項目で, 避暑17.8%(8人), ドライブ15.6%(7人), ハイキング・登山11.1%(5人)

と10ポイントを超える項目が3項目あった。県外からの来訪者と県内からの来訪者の目的の違いがこれらの項目に現れている。

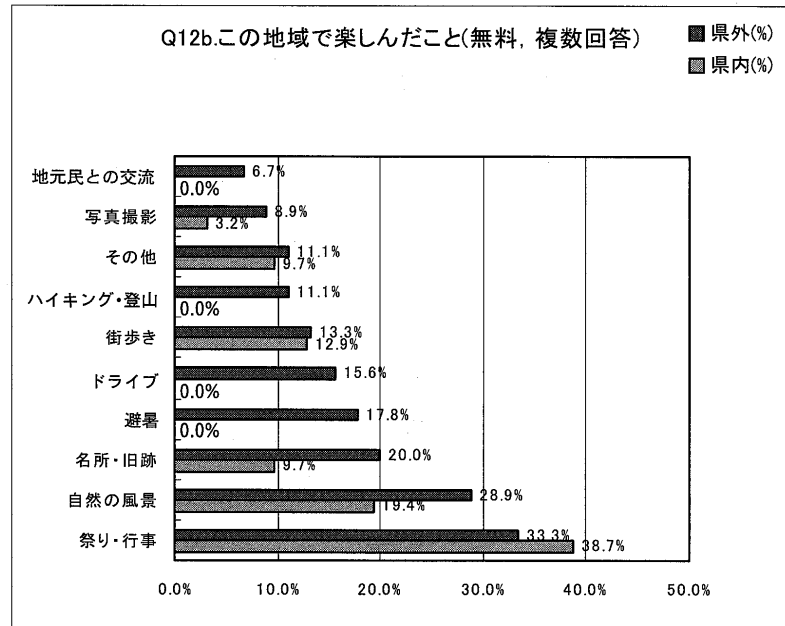


図11. この地域で無料で楽しんだこと。

県内からの来訪者で10ポイントを超えた項目は、お祭り38.7% (12人)、自然の風景19.4% (6人)、町歩き12.9% (4人)であった。第2位の自然の風景は第1位のお祭りの半分で20ポイント近く低くなっていて、お祭り目的の人が多くことが際だっている。

この地域に関するほしい情報(いくつでも可)を図12に示す。

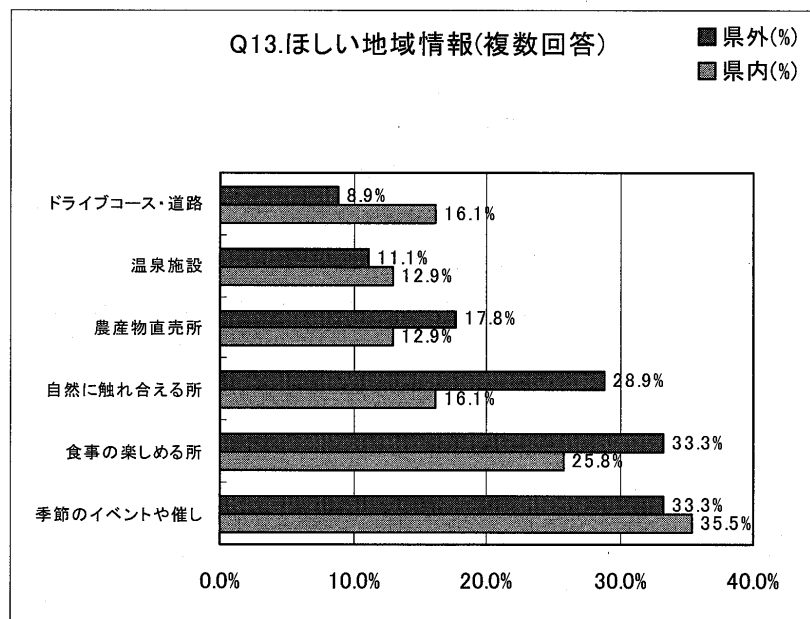


図12. この地域に関するほしい情報。

県外からの来訪者は、季節のイベントや催し 33.3% (15人)、食事の楽しめる所 33.3% (15人)、自然にふれあえる所 28.9% (13人)、農産物直売所 17.8% (8人) の順となっている。県外からの来訪者がほしい情報の上位3項目はポイントが接近している。

県内からの来訪者は、季節のイベントや催し 35.3% (11人)、食事の楽しめる所 25.8% (8人)、自然にふれあえる所とドライブコース・道路が 16.1% (5人) の順となっている。

この地域付近で行ったことのある場所に対する集計結果(いくつでも可)を図13から図16に示す。これらの中から特に気に入った場所も選んでいただく予定であったが、項目が多すぎてそこまではできなかった。

図13に国道361号線沿いの観光スポットを示す。九蔵展望台以外の場所は県内からの来訪者の方が県外からの来訪者よりもポイントが高い。特に、スキー場、体験館きそふくしま、二本木の滝の差が激しい。

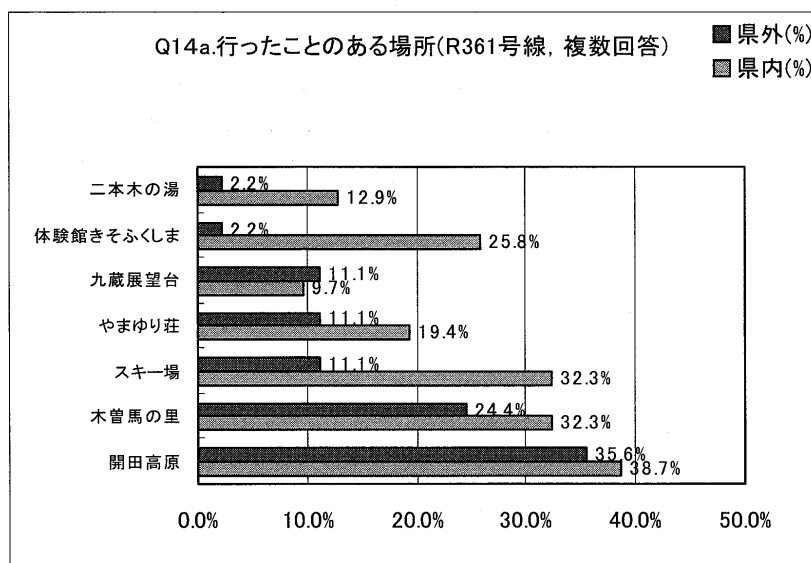


図13. 行ったことのある場所 (R361号線沿い)。

国道19号線沿いの観光スポットに関する集計結果(いくつでも可)を図14に示す。県外からの来訪者の行ったことのある所は、妻籠宿 44.4% (20人)、奈良井宿 42.2% (19人)、馬籠宿 42.2% (19人) の3カ所が40ポイントを超えている。続いて、寝覚めの床 26.7% (12人)、木曾くらしの工芸館 20.0% (9人) が20ポイント以上を占めているが、他の場所はまだなじみがないようだ。

一方、県内からの来訪者は、妻籠宿 45.2% (14人)、奈良井宿 38.7% (12人)、馬籠宿 35.5% (11人)、寝覚めの床 32.3% (10人)、木曾くらしの工芸館 32.3% (10人) 以外にも、道の駅大桑 35.5% (11人)、藪原高原 32.3% (10人) もよく訪れている。さらに、藪原宿、平沢漆器街、義仲館、木曾駒高原、鳥井峠がいずれも 25.8% (8人)、桃介橋 22.6% (7人)、日義木曾駒高原道の駅、フォレスパ木曾、常勝寺がいずれも 19.4% (6人) を占めている。これらの観光スポットの情報が県外からの来訪者に伝われば、もっと多くの人を訪れる可能性も出てくるのではないだろうか。

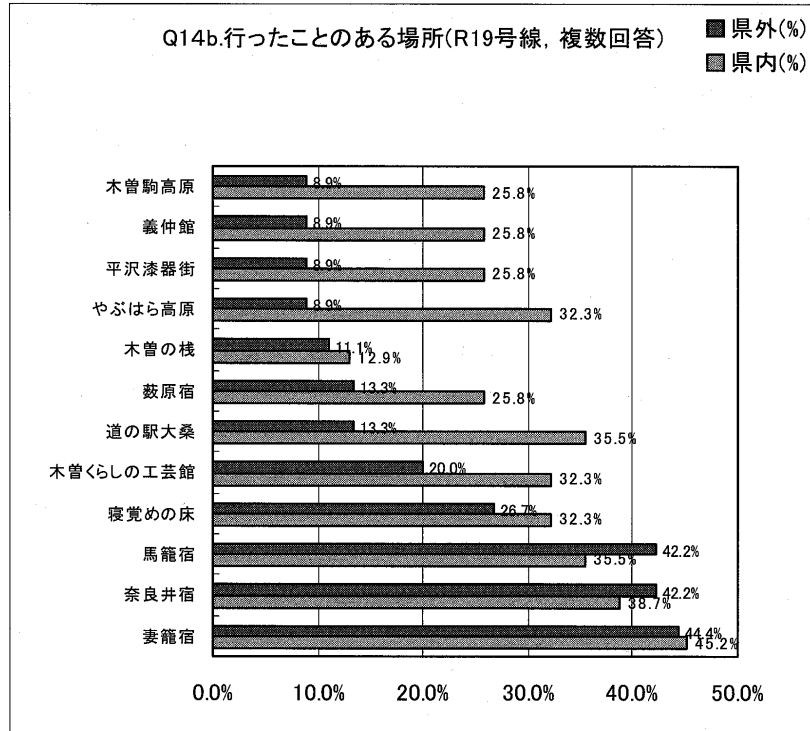


図14. 行ったことのある場所 (R 3 6 1 号線沿い).

その他の木曾福島町内にある観光スポットに関する集計結果 (いくつでも可) を図15に示す。いずれのスポットも歩いていける範囲にあるので、県外からの来訪者と県内からの来訪者の差は、木曾文化ギャラリーを除くと大差はない。

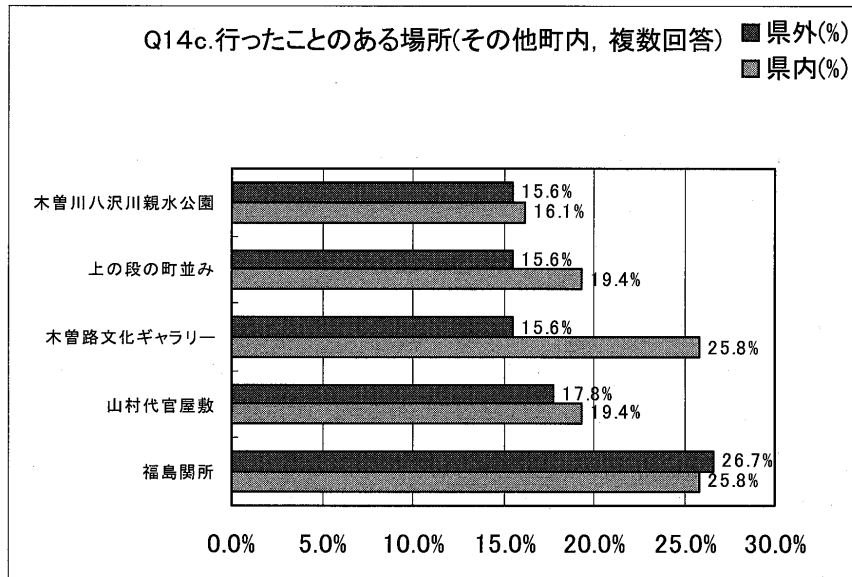


図15. 行ったことのある場所 (その他木曾福島町内).

その他郡内にあるスポットに関する結果（いくつでも可）を図16に示す。こちらも、御岳ロープウェイで県外が22.2%（10人），県内が16.1%（5人），田の原天然公園で県外が8.9%（4人），県内が16.1%（5人）と，この2カ所に関しては多少差があるが，他の場所に関してはあまり差がない。

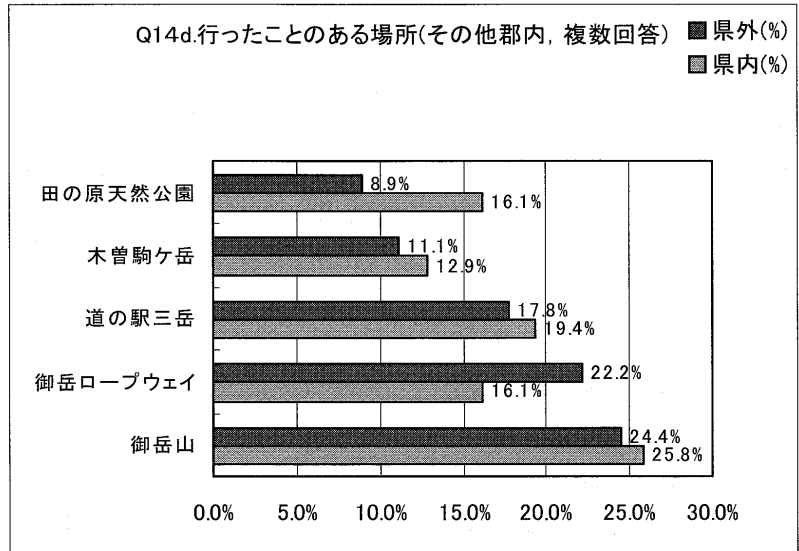


図16. 行ったことのある場所（その他木曾郡内）.

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算を図17に示す。県外からの来訪者45人の内訳は，宿泊する割合が高い（1泊以上80.0%，図4参照）ことを反映して，2万円以上35.6%（16人），1万円以上2万円未満24.4%（11人），5千円以上1万円未満22.2%（10人），5千円未満13.3%（6人）となっている。

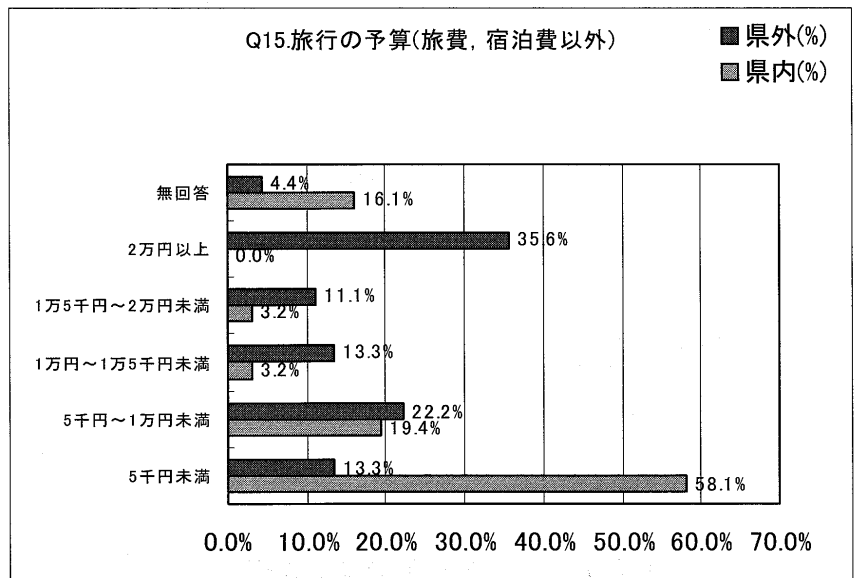


図17. 旅費，宿泊費を除いた旅行の予算.

一方、県内からの来訪者31人の内訳は、5千円未満54.8%（17人）、5千円以上1万円未満19.4%（6人）、1万円以上2万円未満6.4%（2人）、2万円以上0.0%（0人）と、1万円以上はほとんどいない。

旅費と宿泊費を除く旅行の一人当たりの予算（図18参照）の中に含まれる、自分へのお土産代の集計結果を図18に示す。県外からの来訪者は、2千円未満40.0%（18人）、2千円以上4千円未満22.2%（10人）と4千円未満が62.2%を占めている。4千円以上は33.3%（15人）ある。

一方、県内からの来訪者は、2千円未満54.8%（17人）、2千円以上4千円未満19.4%（6人）と4千円未満が74.2%を占めている。4千円以上は6.4%（2人）に留まっている。

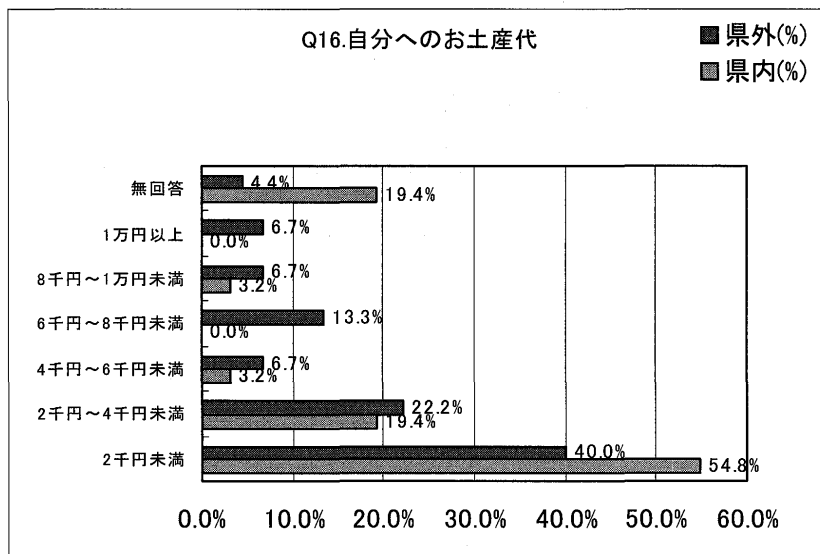


図18. 自分へのお土産代.

木曾路の印象を図19に示す。県外からの来訪者も県内からの来訪者も70%以上が良い印象を持っている。また、悪い印象を持っているものはいない。リピーターが多いこともこの結果に反映していると思われる。

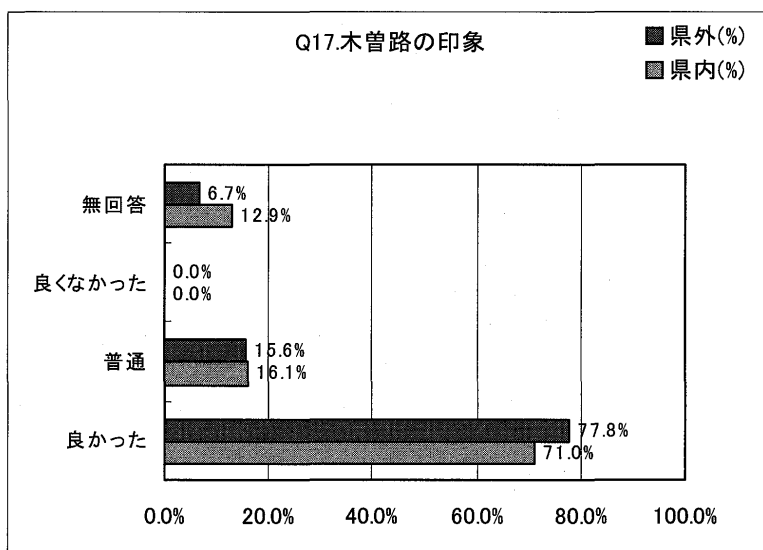


図19. 木曾路の印象.

木曾福島町にまた来たいかという問いに関する結果を図20に示す。県外からの来訪者は、ぜひ来たい62.2%（28人）、機会があれば来たい28.9%（13人）と肯定的な意見が91.1%（41人）を占めている。県内からの来訪者は、ぜひ来たい58.1%（18人）、機会があれば来たい22.6%（7人）と肯定的な意見が80.7%（25人）を占めている。否定的な意見は、県外県内を問わず全くなかった。

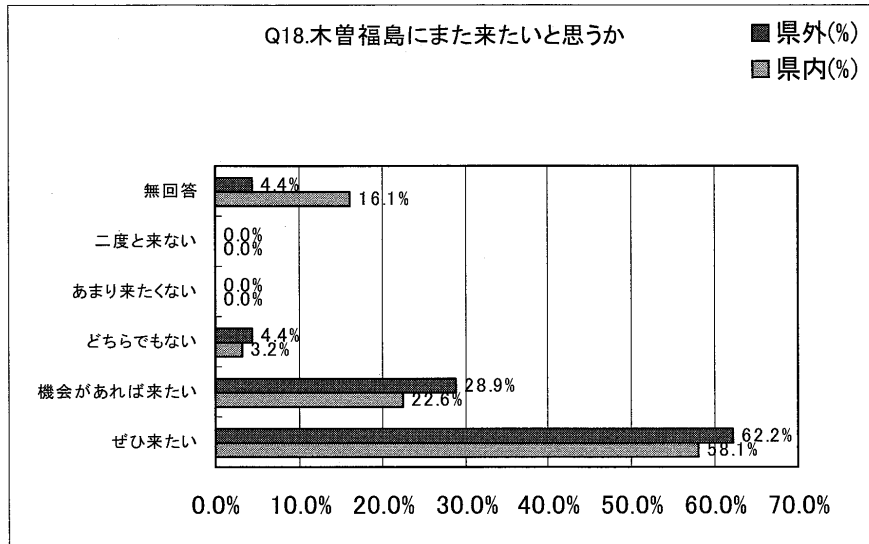


図20. 木曾福島町にまた来たいか。

3. まとめ

木曾福島町を来訪した方に対するアンケート結果を、県外からの来訪者と県内からの来訪者に分けて集計、分析した。県外からの来訪者も県内からの来訪者も3回以上訪れている人がいずれも70%以上占めている。

県外からの来訪者45人の内訳は、県別では愛知県35.6%（16人）、岐阜県13.3%（6人）、東京都11.1%（5人）、の順であった。また、地方別では、中京・東海地方57.8%（26人）、関東31.1%（14人）、関西8.9%（4人）の順で、中京・東海地方が6割近くを占めている。

県内からの来訪者31人の居住市町村に対する回答者は61.3%（19人）で内訳は、長野市4人、松本市3人、塩尻市2人の順であった。昨年、権兵衛トンネルが開通して、伊那と木曾地域の交通の便が大幅に改善された。伊那地域からの来訪者は19人の中にはいなかったが、どれくらい増加しているか調査する必要があるであろう。

また、図13に示した国道361号線沿いの観光スポットや図14に示した国道19線沿いにある観光スポットで、県内の来訪者は比較的好く訪れているが、県外からの来訪者はあまり訪れていない所がある。これらの場所が県外からの来訪者にとって魅力があるかどうか検討することも必要であろう。

この調査に参加した学生は、松本大学松商短期大学部佐藤ゼミの伊藤由香里、三沢彩佳、総合経営学部の高山優、上野哲也、小林幸司、林弘樹、福岡雄介、松野幸平、百瀬慶一、柳本晋輔、山本星一であった。これらの学生の大部分には、データ入力と解析をしてもらっていることも付記しておきたい。

謝辞

この調査を行う際には、木曾福島町の役場の方に協力していただいた。特に、街作り推進課の木村恭一氏には、下見の際に何か所もの調査地点候補地を案内していただくなど大変お世話になった。また、木曾福島町の役場の方と話し合う際には、松商短期大学部の佐藤進氏に橋渡しをお願いした。この場を借りて感謝の意を表したい。

□Q10 木曾福島町に来た目的は何ですか (いくつでも解答可)

- 1.温泉 (足湯につかる) 2.飲食 3.産地直売品・おみやげ 4.トイレ・休憩
5.場所の確認 6.避暑 7.特になし 8.その他 ()

□Q11 どこで木曾福島町の情報を集めましたか (いくつでも回答可)

- 1.ここに来てはじめて知った 2.口コミ 3.ガイドブック 4.観光パンフ
5.道沿いの看板 6.新聞・チラシ 7.インターネット 8.テレビ・ラジオ
9.以前来た 10.その他 ()

□Q12 今回、この地域で楽しんだこと、良い印象を持ったところは何ですか (いくつでも回答可)。

- 有料 1.博物・資料館 2.温泉 3.釣り 4.特産品の購買 5.飲食 6.遊園施設
7.宿泊施設 8.キャンプ 9.その他 ()
無料 10.地元民との交流 11.自然の風景 12.写真撮影 13.名所・旧跡
14.祭・行事 15.避暑 16.町歩き 17.農山村の風景 18.川遊び
19.ハイキング・登山 20.動植物観賞 21.ドライブ 22.その他 ()

□Q13 今後この地域のどんな地域情報がほしいですか (いくつでも回答可)

- 1.温泉施設 2.自然にふれあえる場所 3.食事の楽しめる場所 4.季節のイベントや催し
5.農産物直売所 6.地元民との交流 7.ドライブコース・道路 8.その他 ()
9.必要ない 10.わからない

□Q14 この地域周辺で今まで行ったことのある場所に○を(いくつでも)、特に気に入っている場所に◎を(いくつでも)つけてください。現在地のみの場合は⑤現在地のみ に丸をつけてください。

① R361号線

- 1.ふるさと体験館きそふくしま 2.スキー場 (施設名) 3.開田高原
4.木曾馬の里 5.九蔵展望台 6.二本木の湯 7.やまゆり荘
8.その他 ()

② R19号線

- 1.贅川関所 2.木曾くらしの工芸館 (道の駅ならかわ) 3.平沢漆器街 4.鳥居峠
5.奈良井宿 6.やぶはら高原 (こだまの森) 7.藪原宿 8.義仲館
9.日義木曾駒高原道の駅 10.木曾駒高原 11.木曾の棧 12.寝覚の床
13.定勝寺 14.道の駅大桑 (木楽舎) 15.フォレスパ木曾 16.桃介橋
17.妻籠宿 18.馬籠宿 (藤村記念館)

③ その他 (木曾福島町内)

- 1.福島関所 2.山村代官屋敷 3.木曾川八沢川親水公園 4.上の段の街並み
5.木曾路文化ギャラリー

④ その他 (木曾郡内)

- 1.道の駅三岳 2.御岳山 3.田の原天然公園 4.御岳ロープウェイ 5.木曾駒ヶ岳

⑤ 1.現在地のみ

□Q15 今回の旅行で（旅費、宿泊費を除く）予算は1人当たり大体いくらですか

1. 5千円未満 2. 5千円～1万円未満 3. 1万円～1万5千円未満 4. 1万5千円～2万円未満
5. 2万円以上

□Q15-b そのうち、ご自分へのお土産代はいくらくらいですか

1. 2千円未満 2. 2千円～4千円未満 3. 4千円～6千円未満
4. 6千円～8千円未満 5. 8千円～1万円未満 6. 1万円以上

□Q16 木曾路の印象はいかがですか

- 1.良かった 2.普通 3.良くなかった（期待はずれ）→理由（ ）

□Q17 あなたは、また現在地（木曾福島町）に来たいと思いますか。

- 1.ぜひ来たい 2.機会があれば来たい 3.どちらでもない 4.あまり来たくない
5.二度と来ない

このアンケート調査の結果は木曾地域の振興に皆様のご意見を反映するために行うものです。
その目的以外には使用いたしません。

ご協力ありがとうございました。